



2020年1月31日

各 位

会社名 株式会社メドレー
代表者名 代表取締役社長 瀧口 浩平
(コード番号：4480 東証マザーズ)
問合わせ先 取締役コーポレート本部長 田丸 雄太
TEL. 03-4520-9823

2019年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年12月12日に公表した2019年12月期の連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期連結業績予想の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	4,677	80	81	△414	△16円21銭
今回修正 (B)	4,765	153	178	△381	△14円87銭
増減額 (B-A)	88	73	97	33	—
増減率 (%)	1.9	90.2	117.9	—	—
(ご参考) 2018年12月期	—	—	—	—	—

(注) 2018年12月期においては、連結財務諸表を作成しておりませんので、下表に個別の業績を記載しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
(ご参考) 2018年12月期	2,933	△100	△87	△153	△5円88銭

2. 修正の理由について

売上高につきましては、人材プラットフォーム事業における売上高が堅調に推移したため、前回予想時の計画4,677百万円から今回予想の4,765百万円と88百万円の上振れが見込まれます。

営業利益につきましては、売上高の上振れ 88 百万円に対し、売上原価、販売費及び一般管理費の合計額が以下の要因により前回予想時の計画対比で 15 百万円の上振れにとどまったことから、73 百万円の営業利益上振れが見込まれるため、上方修正をいたしました。

(売上原価)

売上原価は、前回予想時の計画 1,578 百万円から今回予想の 1,551 百万円（計画対比△27 百万円、1.7%減）となる見込みです。売上原価が前回予想時の計画対比で減少している要因としては、人材プラットフォーム事業の売上原価が、前回予想時の計画対比 41 百万円下回って推移したためです。具体的には、労務費、支払手数料及び返金等が前回予想時の計画よりも、それぞれ 9 百万円、23 百万円、6 百万円下回ったことが主な要因となります。なお、医療プラットフォーム事業の売上原価は、前回予想時の計画対比 14 百万円上回る見込みであり、新規開発サービスについては、前回予想時の計画通りとなる見込みです。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費は、前回予想時の計画 3,018 百万円から今回予想の 3,060 百万円（計画対比 +42 百万円、1.4%増）となる見込みです。販売費及び一般管理費が増加している要因としては、全社費用である採用諸費等が前回予想時の計画よりも上回ったことによるものです。一方で、人材プラットフォーム事業の販売費及び一般管理費は前回予想時の計画対比 18 百万円下回る見込みであり、医療プラットフォーム事業の販売費及び一般管理費は前回予想時の計画対比 29 百万円下回る見込みであります。なお、新規開発サービスは、前回予想時の計画通りとなる見込みです。

経常利益につきましては、人材プラットフォーム事業における顧客事業所の利用規約違反に関連した受取和解金（営業外収益）が前回予想時の計画対比で上振れて発生し、営業利益の上方修正幅を超えて経常利益が上振れることが見込まれるため、上記の通りの上方修正といたしました。

親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、前回予想からの修正は限定的ですが、経常利益に比して上方修正の幅が小さくなっている主な要因は、課税所得の増額を背景とした法人税等の増額によるものです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上